



倉野小の歴史を残す閉校記念碑



卒業証書を受け取る末吉渚さん



倉野小で学んだ日々を忘れず、新しい学校でも頑張っていきます。

倉野小学校 閉校



3月21日(日)、樋協町の倉野小学校で最後の卒業式と閉校式が行われました。卒業式では5人の卒業生がお別れの言葉の中で力強く将来の夢を発表しました。また同校の132年の歴史を記念して記念碑も建てられました。

ありがとうございます倉野小学校
132年の歴史に幕



東郷

梅香る境内に
笑いと拍手が！

2月28日(日)、藤川天神で藤川天神臥竜梅祭りが開催されました。藤川小学校全児童による太鼓演奏や市内外のさまざまな踊りが披露され、中でも地元の「本俣兵六踊り」は独特な歌とせりふの言い回しで観客を魅了し、境内は大きな笑いと拍手に包まれました。

3月14日(日)、川内川堤防などをコースに、川内川河口マラソン・ウォーキング大会が開催されました。ゲストラナーの旭化成陸上部 大野龍二さんをはじめ、市内外から約1,100人が参加。「毎年楽しみにしています。この大会は参加料が安く、景品もいい！」と参加者。温かい春の日差しの中を思い思いのペースで楽しんでいました。



子どもも大人も笑顔でウォーキング



河口大橋を駆け抜ける参加者ら



気分爽快！笑顔満開！
春の川内川河畔を満喫



3月23日(火)、本市出身の山口貴資さんが、1974年の大学院修了時に完成させた尾形光琳作「国宝八橋蒔絵螺鈿硯箱」の模作作品を本市に寄贈。これは、漆と触れ合う機会の少ない本市の若い人たちに日本の漆工芸の魅力伝えたいとの思いで贈られたものです。

制作期間3年
国宝を忠実に再現



中越パルプ川内工場が、操業55周年を記念して、市内すべての新入学児童のためにノートを作成。デザインは子どもたちの健やかな成長を願い考案されたもの。3月18日(木)には、同工場長が教育長を表敬訪問し、ノートの贈呈がありました。

特製ノートを
子どもたちへプレゼント



一昨年4月から本庁企業・港振興課に在籍し、本市と中国の交流の懸け橋役として尽力された第5代国際交流員の王鶴凌さんが、この度2年間の職務を終えられました。本市での思い出を胸に帰国されても頑張ってください。

王さんからのメッセージ



自然に恵まれた薩摩川内市、そして親切な皆さま、この2年間、本当に有難うございました。いろいろ教えていただき、感謝の気持ちは言葉では言い尽くせません。遠く離れた中国四川省に帰っても、薩摩川内市との絆を携え、中日友好のために力を尽くそうと思っています。「天府の国」と呼ばれる四川省にもぜひお越しください。

王鶴凌



豪華！全国うまいもん駅弁まつり



焼きたてお餅！いい香り♪



ミニ新幹線「つばめ」出発！

3月20日(土)・21日(日)の両日、川内駅前広場(東口・西口)と昭和通りを会場に「第7回きやんせふるさとフェスタ」が開催されました。全国の駅弁販売や特産品ふれあい市、ミニ新幹線の運行などがあり、多くの観衆でにぎわっていました。

いいもの大集結
きやんせふるさとフェスタ



祁答院

野菜づくりの達人
元気に頑張る80代トリオ！

黒木地区の小牧明さん(84)、西典章さん(81)、諏訪辰己さん(81)は、高齢となった現在でもカボチャ、里芋など品質の良い野菜作りに取り組む地域のリーダー的存在。「まだまだ若いもんには負けやならん」と日々切磋琢磨しながら頑張っている元気な3人組です。